

総合医療センターの沿革

当院は、昭和23年8月に、旧海軍燃料廠附属病院を継承した、「三重県立医学専門学校・三重県立医科大学附属塩浜病院」が前身です。その後、「県立総合塩浜病院」として、北勢地域における県立病院としての役割を果たしてきました。その間、いわゆる「四日市公害」が発生し、ぜんそく患者の方の治療も行ってきました。

平成6年に、名称を「三重県立総合医療センター」に変更し、現在の日永地区に移転しました。平成24年には、病院の運営形態が「地方独立行政法人」となりました。

<年表>

- 平成6年10月 県立総合医療センター開院
救急病院指定
身体障害者福祉法による更生医療指定病院承認
結核予防法指定病院の承認・生活保護指定病院承認
母子保健法による養育医療指定病院承認
臨床研修指定病院承認
保険医療機関指定承認
労災保険指定病院の変更承認・労災保険義肢採型指導医指定変更承認
労災アフターケア実施医療機関指定変更承認
- 7年 4月 NICU施設認定
- 8年 2月 「エイズ治療拠点病院」指定
4月 **八代院長・宗行万之助**就任
- 9年 1月 「基幹災害医療センター」指定（24年4月より「基幹災害拠点病院」指定）
- 11年 4月 **九代院長・鈴木宏志**就任
適時適温給食導入
- 12年 1月 西棟・手術棟完成
- 13年 3月 6階東病棟改修
4月 「第二種感染症病床指定医療機関」指定
病床数（一般412床、救命救急センター30床、感染症4床）許可
7月 セミオープンベット開設
- 14年 8月 「地域がん診療連携拠点病院」指定
10月 **十代院長：小西得司**就任
- 15年 3月 地域周産期母子医療センター指定（NICU3床、GCU7床）
4月 「へき地医療拠点病院」指定
8月 新オーダーリングシステム導入
9月 救命救急センター HCU ICU CCUに分離（ICU CCU 7床→6床）
- 16年 3月 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定取得（Ver.3）
パーキングシステム設置
4月 患者相談窓口設置
6月 外来化学療法室を開設（6床）

- 17年11月 太陽光発電システム設置
- 18年 1月 緩和ケア外来開設
- 8月 初代電子カルテシステム導入
- 20年 3月 放射線治療システム（ライナック）設置更新
- 4月 **十一代院長：高瀬幸次郎就任**
クレジットカード決済開始
災害用地下水供給システム設置
- 7月 セカンドオピニオン外来開設
- 10月 外来化学療法室の移転（2階）及び増床（7床→10床）
- 11月 自治会との災害給水協定締結
血管造影撮影装置（心臓・頭腹部アンギオ）設置
- 21年 3月 三重DMAT派遣協定締結（三重DMAT派遣病院）
- 4月 DPC（医療費定額支払制度）開始
- 6月 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定更新取得（Ver.5）
- 8月 がんサポート室開設
- 10月 7対1看護基準取得
- 22年 6月 地域連携室移転整備（「かけはし」の開設）
- 10月 320列マルチスライスCT設置
- 23年 8月 2代目電子カルテシステム導入
- 24年 4月 地方独立行政法人化
初代理事長：高瀬幸次郎就任（院長兼務）
- 25年 3月 内視鏡棟新設（「内視鏡センター」設置）
- 4月 周産期棟新設
卒後臨床研修評価機構による認定取得
- 6月 「地域医療支援病院」承認
- 26年 2月 MFICU（5床）稼働
NICU増床（3床→6床）、GCU増床（7床→12床）
- 6月 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定更新取得（3rdG Ver1.0）